

# 学校法人旭川荘 令和元年度事業報告

## 1) 旭川荘厚生専門学院

### (1) 卒業生の進路状況

| 区分       | 卒業生 | 就職  | 進学 | その他 | 就職先の内訳                          |
|----------|-----|-----|----|-----|---------------------------------|
| 児童福祉学科   | 26  | 24  | 1  | 1   | 旭川荘 2、保育園等 13、障害者施設 5、一般企業 4    |
| 看護学科     | 95  | 91  | 2  | 2   | 旭川荘 2、病院 86(県内 47、県外 39)、看護助手 3 |
| 介護福祉学科   | 18  | 17  | —  | 1   | 旭川荘 7、老人福祉施設等 10                |
| 精神保健福祉学科 | 10  | 6   | —  | 4   | 旭川荘 2、行政機関 1、精神科病院 2、放課後児童クラブ 1 |
| 合計       | 149 | 138 | 3  | 8   |                                 |

※進学：助産師・保健師資格取得等      その他：進学準備等

### (2) 国家試験の状況

| 区分       | 受験者数 | 合格者数 | 合格率(%) |
|----------|------|------|--------|
| 児童福祉学科   | —    | —    | —      |
| 看護学科     | 95   | 90   | 94.7   |
| 介護福祉学科   | 18   | 16   | 88.9   |
| 精神保健福祉学科 | 10   | 8    | 80.0   |

### (3) 令和2年度入学者選抜試験状況

| 区分       | 定員  | 令和2年度 | 平成31年度 |
|----------|-----|-------|--------|
| 児童福祉学科   | 50  | 20    | 29     |
| 看護学科     | 120 | 117   | 106    |
| 介護福祉学科   | 40  | 20    | 19     |
| 精神保健福祉学科 | 40  | 募集停止  | 11     |
| 合計       | 250 | 157   | 165    |

### (4) キャンドルサービス、戴帽式

入学後6ヶ月を経過した学生が、専門職を目指す意思を固める儀式

- ① キャンドルサービス 10月2日(水) 対象：児童28人、介護16人
- ② 戴帽式 10月4日(金) 対象：看護98人

### (5) 保育の玉手箱

近隣の保育園児や障害のある旭川荘各施設利用者を招待し、本学で学んだ表現力を活かしたオペレッタや器楽演奏、ダンスを児童福祉学科の学生が発表し、参加型交流の場とした。

開催日：12月25日(水) 招待者：110人

会場：厚生専門学院リズム棟

### (6) 吉井川キャンパス付帯事業

#### ① 介護実務者研修(通信教育)

入校コース 2・3・4・5・6・7・8・9月入校

学習期間 6ヵ月(期間中6日間のスクーリング)

修了者数 50名

#### ③ 喀痰吸引等基本研修

開講期間 A：令和元年5～8月 B：令和元年11月～令和2年2月

学習期間 通学8日間(講義7日、実技1日)

修了者 基本研修48名、実地研修87(委託先施設)

研修体系：基本研修(本学)+実地研修(委託先施設)→「資格取得」

### (7) 社会・地域貢献事業等

①離職者を対象とした資格取得促進事業（県産業労働部）

保育士養成 6名（1年生 3名、2年生 3名）  
精神保健福祉士養成 4名（1年課程）

②おokayama子育てカレッジ地域貢献事業（県備前県民局）

児童福祉学科の学生及び教員が、地域の子育て支援団体等と連携し、遊びを通じた子育て支援や高齢者との交流、子育て相談会などを実施した。

実施回数：8回（6月から1月）

参加者数：乳幼児・児童245人、保護者・家族等136人、高齢者4141人

実施場所：厚生専門学院リズム棟、結びの杜三世代交流センター他

（8）社会福祉法人旭川荘との連携

①医療・福祉人材養成教育

旭川荘療育・医療センターなど旭川荘職員42人から講義や演習の指導を受けた。

旭川敬老園など24施設で、学生延669人（児童、看護、介護）が臨地実習を行った。

②旭川荘の施設運営支援

旭川学園など13施設で148人がアルバイトを行った。

③人事交流

看護学科教員・事務局職員として3名を受け入れた。

④カレッジ旭川荘

体育大会や学院祭などの行事や文化活動入門（茶道・華道・書道）にカレッジ生全員が参加したほか、「心理学、介護の基本」など5科目を6名が聴講した。

⑤岡山県・市受託研修、アカデミー講座

研修等の実施に当たって、旭川荘の中堅及び幹部職員の講師就任は下表のとおり。

| 研修・講座区分             | 講師総数 | 内旭川荘 | 荘職員率  |
|---------------------|------|------|-------|
| 岡山県相談支援従事者初任者研修     | 32名  | 5名   | 15.6% |
| 岡山県サービス管理責任者等研修     | 42名  | 30名  | 71.4% |
| 県・市医療的コーディネーター等養成研修 | 20名  | 14名  | 70.0% |
| 岡山県相談支援従事者現任研修      | 19名  | 2名   | 10.5% |
| 岡山市放課後児童クラブ支援員研修    | 6名   | 5名   | 83.3% |
| 旭川荘療育アカデミー講座        | 6名   | 1名   | 16.7% |

## 2）旭川荘療育アカデミー

（1）「夏季講座」

開催日：令和元年8月10日（土） 受講者：103名

会場：新見公立大学・学术交流センター

テーマ及び講師

「幼児期から学童期・青年期のキレやすい発達障害がある人への支援技法」

～支援者のアンガーマネジメントを踏まえて～

松本好生 新見公立大学健康科学部 教授

「幼児期から学童期の発達障害のある子どもの理解と支援」～吃音の支援を含めて～

川合紀宗 広島大学学術院 教授

（2）「吃音研修講座」

開催日：令和元年10月6日（日） 受講者：85名（内、医師14名）

会場：旭川荘研修センターよしい川

テーマ及び講師

「吃音相談外来を始めて思ったこと」

岡部健一 旭川荘南愛媛病院 院長

「分かりやすい吃音の理解と支援」

菊池良和 九州大学病院・耳鼻咽喉科医師（助教）

(3)「特別支援教育講座（小学校編）」

開催日：令和元年2月2日（日） 受講者：43名

会場：旭川荘研修センターよしい川

テーマ及び講師

「気になる子どもの理解と将来につなげるための支援の在り方」

～ASDとADHDの発祥メカニズムと望ましい支援技法～

松本好生 旭川荘療育アカデミー学院長

「ユニバーサルデザインの社会科授業と温かい人間関係を築く学級づくり」

村田辰明 関西学院初等部・副校長

(4)「放課後児童クラブ支援員等研修講座」

〔新型コロナウイルス感染症拡大防止〕のため中止

### 3) 学校法人本部

岡山県及び岡山市から要請を受けた研修を下記のとおり実施した。

(1) 岡山県相談支援従事者初任者研修

講義2日間（7月） 演習3日間：A日程（7～8月）、B日程（8月）

会場：旭川荘研修センターよしい川他 修了者：143名

(2) 岡山県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者研修

基礎研修〔連続2日間×2コース：10月〕 修了者：202名

更新研修〔1日課程×3コース：11～12月〕 修了者：185名

会場：きらめきプラザ他

(3) 医療的ケア児等コーディネーター・支援者養成研修

| 研修区分     | 日程                  | 修了者 | 会場    |
|----------|---------------------|-----|-------|
| 支援者      | 講義2日（11月）           | 18名 | 旭川児童院 |
| コーディネーター | 講義2日（11月）+演習2日（12月） | 59名 |       |

(4) 岡山県相談支援従事者現任研修

研修日程：講義1日（1月） 演習2日間（1～2月）

会場：旭川荘研修センターよしい川 修了者68名

(5) 岡山市放課後児童クラブ支援員発達障害専門研修

研修日程：講義4日間（10/27、11/10、11/17、12/1）

会場：旭川荘研修センターよしい川

受講者：延99名（内、修了者19名）